

報道関係者各位

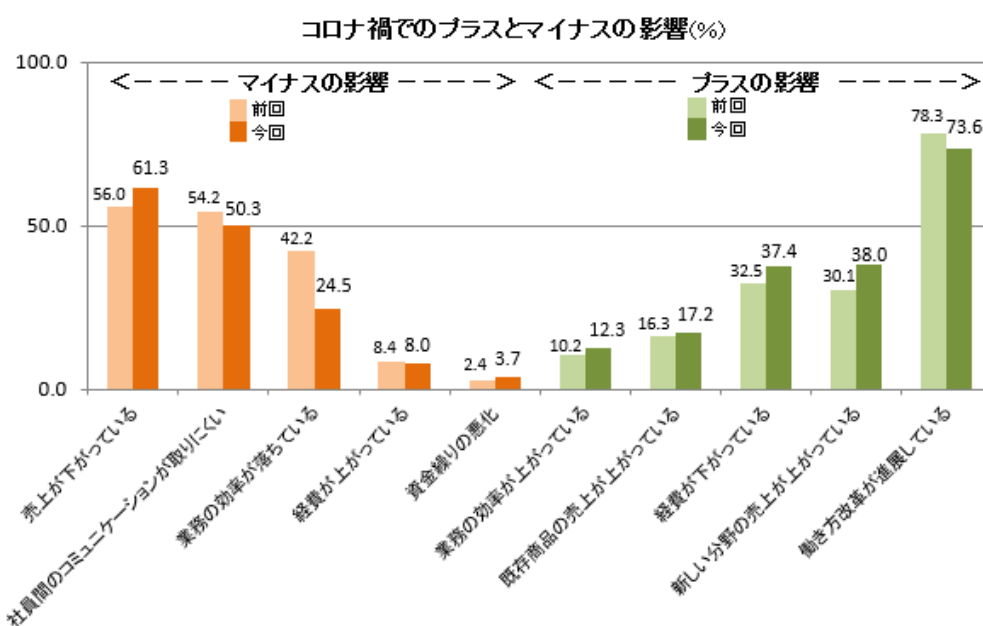
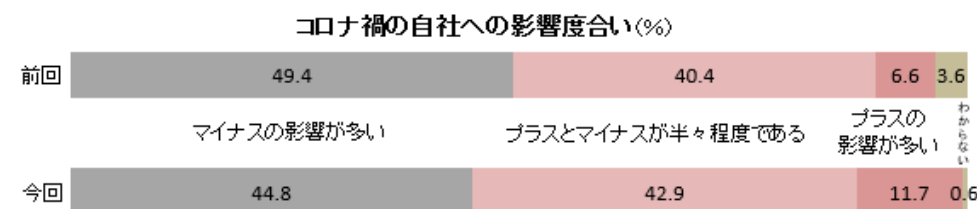
2020年12月10日

一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会 (JCSSA)
 〒113-0034 東京都文京区湯島1-9-4 嶋原ビル2階
 TEL:03-5802-3198 FAX:03-5802-0743
<https://www.jcssa.or.jp/>
 E-mail:jimu5802@jcssa.or.jp

日本のIT企業、コロナ禍をプラスに転じる企業が増加 ——第14回JCSSA景気動向(DI)調査結果まとまる

コンピュータシステム販売に関する調査研究、人材育成、普及及び啓発、情報の収集及び提供を行う業界団体、一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会(JCSSA 東京都文京区 林 宗治 会長)は12月10日、「第14回JCSSA景気動向調査」の結果を発表した。日本を代表するIT業界の会員企業のうち239社を対象として11月に調査を実施。会員各社の景況感や新型コロナウイルス感染症の拡大がどのように影響しているかが明らかになった。

●コロナ禍をプラスに転じる企業が増加 懸案だった社員間コミュニケーション問題や効率低下問題は改善しつつある



本調査では7月に実施した前回に引き続き、コロナ禍でどんな影響を受けたかを聞いた。前回調査に比べコロナ禍で「マイナスの影響が多い」とした企業が4.6ポイント減少し44.8%、「プラスとマイナスが半々程度である」が2.5ポイント増え42.9%に拡大。さらに、「プラスの影響が多い」とした企業は5.1ポイント増え11.7%に上がった。マイナスの影響は大きいものの、コロナ禍からプラス要素を見出す企業が徐々に増えている。

影響の中身を見ると、マイナスの影響として「売上が下がっている」

「第14回JCSSA DI調査」(2020年11月)

は、前回5.3ポイント増え61.3%に上ったものの、「社員間のコミュニケーションが取りにくい」は3.9ポイント減少し50.3%、「業務の効率が落ちている」は17.7ポイント減少し24.5%にとどまった。プラスの影響では「経費が下がっている」が4.9ポイント増の37.4%、「新しい分野の売上が上がっている」が7.9ポイント増の38.0%など前回調査よりプラスの影響の増加が目立った。

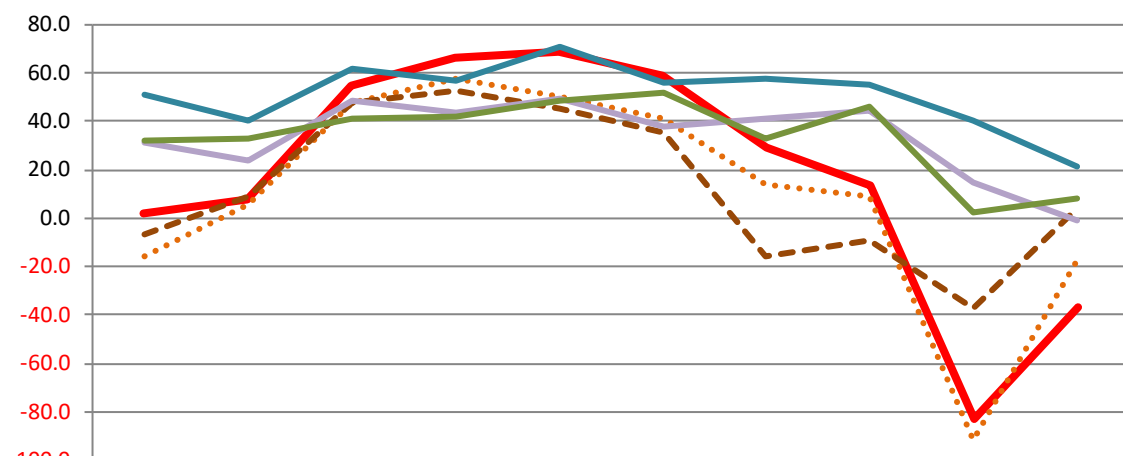
●コロナ禍が会員企業を直撃

景況感DIが大幅に回復、賞与や賃上げDIは前回からさらにマイナスに

新型コロナウイルス感染症拡大の影響ですべての値が大きく後退した前回調査だったが、今回は主要な8つのDIのうち前回激しく落ち込んだ3つの景況感関連のDIが急回復した。一方、賃上げDIや賞与DIは、前回小幅なマイナスに踏みとどまった反動で、今回は2桁のマイナスを記録した。設備投資や採用関連のDIはわずかな回復にとどまった。

「現状の景況感DI」は-36.8と依然大幅マイナスながら、前环比+46.4ポイント改善。「半年前との景況感比較DI」も-17.8と2桁マイナスながら、前环比+73.8ポイントと大幅に改善した。「半年後の景況感見通しDI」については前环比+41.7ポイントの4.3とプラスに転じた。一方、「賃上げDI」は、今回最も高いDI値21.5を記録したものの、前环比で-18.8と2桁で後退した。同様に「賞与DI」も前环比-16.2ポイントの2桁後退で-1.2とマイナスに転じた。「新卒採用DI」は-4.9とマイナス圏だが、前环比で+2.3ポイント改善。「中途採用DI」は15.9で前环比+4.4ポイント改善した。「次期設備投資DI」については8.0と+5.6ポイント改善した。

JCSSA会員のDI値時系列変化



	16年 5月	16年 11月	17年 5月	17年 11月	18年 5月	18年 11月	19年 5月	19年 11月	20年 7月	20年 11月 (今回)
● 現状の景況感DI	1.7	8.1	54.4	66.4	69.0	59.0	29.0	13.9	-83.2	-36.8
●●●● 半年前との比較DI	-15.8	5.6	48.0	57.3	50.6	41.0	13.8	9.0	-91.6	-17.8
--- 半年後の見通しDI	-6.7	8.9	48.0	52.4	45.3	35.8	-16.0	-9.1	-37.4	4.3
— 賃上げDI	50.8	40.3	62.1	56.6	70.9	56.4	58.0	55.6	40.3	21.5
— 賞与DI	31.7	24.2	48.4	43.4	49.3	37.8	41.4	44.4	15.0	-1.2
— 次期設備投資DI	32.5	33.1	41.6	42.0	48.6	51.9	33.2	45.8	2.4	8.0

「第14回JCSSA DI調査」(2020年11月)

※DIとは

Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、企業や業界などの景況感や業況感、設備、雇用人員の過不足などを数値化する際に用いる指標。日銀が発表している「日銀短観」などでも採用されている。「良い」と答えた回答会社の割合から「悪い」と答えた回答会社の割合を引いて算出する。すべて「良い」で100になり、「良い」「悪い」が同割合で0、すべて「悪い」で-100になる。

■「第14回JCSSA景気動向調査」調査概要■

対象 : JCSSA会員企業のうち 239社 (正会員145社、賛助会員94社)

有効回答数 : 163社

最終回答率 : 68.2%

調査手法 : インターネット調査

調査期間 : 2020年11月18日～11月25日